

# 東部町誌 歴史編 下 目次

1 小瀬川

(1) 小瀬川の源流 東部町誌 歴史編(下巻) 大瀬(巻頭)

2 水田開闢の歴史 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

3 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

第四節 水田開闢

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(2) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

5 土田開闢の歴史(下巻) 土田(巻頭)

(1) 土田開闢の歴史(下巻) 土田(巻頭)

(2) 土田開闢の歴史(下巻) 土田(巻頭)

1 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(2) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

## 第四章 水田

1 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

2 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

1 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

2 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(2) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

3 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

4 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(2) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(3) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(4) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(5) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(6) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

1 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

2 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(1) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

(2) 水田開闢の歴史(下巻) 水田(巻頭)

# 第四章 近世

尾崎 行也 寺島 隆史  
竜野敬一郎 矢羽 勝幸  
青木 歳幸 長岡 克衛

## 第一節 支配

一三三

1 はじめに……………一三三

国統一の象徴「御家流」 武家支配と地域の人々  
真田氏から仙石氏へ 柵津旗本領の成立  
幕府支配下の小県の村々

2 上田藩の支配のありさま……………二二

(一) 真田氏時代

関ヶ原合戦と真田氏の動き 真田信之の治政  
納米(納税)のしくみ 松代移封とその後

(二) 仙石氏時代

仙石氏の系譜 仙石氏の治政 出石転封とその後

(三) 松平氏時代

松平氏の系譜 松平氏の治政

3 柵津旗本領……………七〇

松平氏の系譜 歴代領主 治政(法令) 支配(機構)

4 小諸藩……………九七

## 第二節 土地

一〇七

領主の変遷 牧野氏の治政

1 検地……………一〇七

(一) 上田領の検地と貫高制

太閤検地と真田氏 貫高制と真田氏

なぜ一貫文〓二石四斗七升か 信之の近世村落への移行策

上田藩の貫ならし 承応貫高帳の成立

貫高制はなぜ続いたか

(二) 柵津領の検地

新張村検地帳 金井村検地帳

(三) 小諸領の検地

小諸領石直し 全領的な寛永検地 厳しい寛文検地

寛文一〇年片羽村御縄打帳

2 新田開発……………一三〇

(一) 真田氏時代の新田開発

百姓還住策と新田開発 仙石氏以後の新田開発

(二) 柵津・小諸領の新田開発

柵津領の御家中開 十分ノ一地 小諸領の新田開発

3 面積単位・地名……………一三七

(一) 貫文地・蒔・塚

一貫文の地積と石高 蒔・塚・刈・一丁すき

(二) 地名・村絵図

地名研究の意義 本海野御帳の地名 新張・別府の地名  
片羽村御縄打帳の地名 村絵図

第三節 貢租……………一四五

1 上田領の貢租……………一四五

(一) 松平氏以前

諏訪社頭役と真田氏 真田氏時代の貢租

仙石氏の入封と当免・定代 本年貢と小物成の納入

(二) 松平氏時代

東田沢村の年貢免状から 検見引・定免・諸引物

甲州拵・上田拵・新京拵

2 柵津領の貢租……………一六二

(一) 真田氏時代

天和八年奈良原御年貢御帳

(二) 寛永分知以降の貢租

寛永期の免相定 年貢米のゆくえ 柵津領の小物成

加沢湯運上

3 小諸領の貢租……………一七六

(一) 松平・青山・酒井・西尾・石川氏時代

仙石氏時代の貢租 松平氏・青山氏時代

酒井・西尾・石川氏時代……………二六

(二) 牧野氏時代の貢租

元禄一五年の片羽村指出帳 五分一金納と年貢収納

高崎教育の地方仕法留

第四節 村と村人……………一八五

1 村の人々……………一八五

(一) 本百姓と抱

農民の村 本百姓と抱百姓 宝永三年の本百姓と抱百姓

中曾根村での実態 抱百姓の解放

(二) 女たち

縁女送り書 宗門改帳 結婚をめぐって 離縁状

後家 奉公

(三) 被差別部落の成立とあゆみ

被差別身分の設定 上田藩の政策 番太郎藩の成立

差別強化と役割の増大

2 村政……………二三四

(一) 村役人

村方三役 村役人の定員 兼帯庄屋 割番と大庄屋

村役人の任免

(二) 庄屋の役割

庄屋の役割 村方庄屋引継文書 村方庄屋作成文書

庄屋の御用書留帳 宝永七年中曾根村萬書留帳  
海善寺村の御用向書留

3 人々のくらし .....二八五

(一) 享保一六年の小遣帳

名主の手前金銭出納

(二) 凶作と小百姓

元禄二二年の凶作 天保飢饉

(三) 表彰される百姓

奇特百姓の推薦状

(四) 火災

4 歩き巫女 .....三三五

(一) 日本一の巫女村―柵津―

(二) 口寄せと巡業

(三) 巫女の村

(四) 「ののう」の離散

(五) 文化伝承のない手

第五節 山と水 .....三三三

1 山 .....三三三

(一) 林野の種類

山林原野への需要の高まり 御林と植林 百姓林・山

(二) 入会林野

入会慣行 山論の発生 大笹山論と国境の確定

北山の株山訴訟 蛇川原草場論などの争論

2 水 .....三七六

(一) 水糸

(二) 諸河川の水利慣行

深沢川の水利慣行 井子村と芝生田村の水論

奈良原水(六分水)の水利慣行 宝永の水出入り

正徳の番水慣行裁許 枅をめぐる紛争と新堰出入

三分沢の水利慣行と分水枅 金原川・成沢川の番水慣行

(三) 用水堰とため池

権左衛門堰の開削と延長 吉田堰と三枚はずし

ため池の築造 湧水の利用

第六節 産業 .....四〇九

1 農業 .....四〇九

(一) 農作物と農業技術

宝永差出帳の農作物 稲の品種と品種改良 農業技術の進歩

大麦・小麦・その他の作物 一年の農事作業

(二) 農民の副業

男稼・女稼 商品作物

2 養蚕業・蚕糸業 .....四二六

- (一) 養蚕業の発達
  - 桑の栽培のひろがり
  - 養蚕の実態と春蚕・夏蚕
- (二) 蚕種業の発達
  - 蚕の品種改良
  - 蚕種商人の活動
- (三) 製糸・のぼせ糸
  - 糸挽き指南
  - のぼせ糸

3 諸産業……………四四九

- (一) さまざまな生業
  - 宝永差出帳の非農家数
- (二) 酒造業
  - 酒値段の統制
  - 酒造株
  - 酒造配当株一件
  - 酒造業者
- (三) その他の稼ぎ
  - 水車かせぎ
  - 砥石売場の引き受け
  - 紺屋渡世・髪結・屋根師
  - 東田沢の花火
  - 村医師と医療

第七節 交通と人馬の往来……………四七九

1 北国街道と称津道……………四七九

- 北国街道
- 一里塚
- 口留番所

2 田中宿と海野宿……………四八六

- (一) 宿場の成立と構成

- 田中宿
- 海野宿
- (二) 人馬の継ぎ立て

- (一) 飯盛女のように
- (二) 両宿間の出入り

3 助郷の村々……………五一四

- (一) 田中・海野宿への助郷
- (二) 小諸宿への助郷
  - 助郷人勤めようす
  - 助郷軽減の嘆願
- (三) 中山道への加助郷
  - 当分助郷勤め
  - 年季定(代)助郷
- (四) 塩名田橋組合の負担

第八節 戸口……………五四五

1 宗門改め……………五四五

- 戸籍簿としての宗門改め帳
- 宗門改め
- 宗門改め帳の具体例
- 送籍
- 帳外・無宿

2 戸口……………五五三

- 町域の村々の戸口
- 称津知行所の人別書上
- 各領分全域の身分・職業別戸口
- 全国の人口
- 人口の滯停
- 男女別の比率

## 第九節 災害・騒動……………五六三

## 1 災害……………五六三

(一) 寛保二年の大洪水

町域の村々の被災状況 所沢川の押し出し

金井の被災状況 金井村の移転・復興

(二) 凶作・飢饉

天明の凶作 天保の凶作・飢饉 上田藩の飢饉対策

(三) 火災

加沢村の大火 本海野宿の大火 田中宿の大火

## 2 騒動―百姓一揆―……………五九四

(一) はじめに

(二) 上田藩の宝曆騒動

騒動の概要 田中組における打ちこわし

東田沢山入会論争への波及

(三) 天明三年の上信騒動

騒動の概要 上田藩による逮捕者 三〇人が獄死

## 第十節 文化の伸展……………六二一

## 1 学問のひろがり……………六二一

(一) 国学

小林文康 矢嶋行康

(二) 和算の学問

宮下重政 上原道英と祢津大日堂算額

## 2 教育の普及……………六二九

(一) 寺子屋と庶民教育

(二) はじめての教育者

川合殿成

## 3 花ひらく文学……………六三八

(一) 和歌

古今伝授をうけた道芳 その他の歌人たち

(二) 狂歌

塩川水哉と祢津狂歌壇 田中友年と『賀筵友鶴集』

その他の狂歌作者

(三) 俳諧

上小地方の俳諧の源流 上田・小県地方の俳諧

上田市連歌町 『かけこと』から文芸へ

蕉風俳諧の導入と瀬下玉芝 瀬下玉芝と東部町の俳人たち

祢津移住後の瀬下玉芝 横山治泉の影響

東部町で発行された二俳書 長久寺芭蕉塚と太白堂系の俳諧

中央へ雄飛した竹内千兮 大衆化と奉額

荒井半山の影響 石年と寛海の感化

## 4 寺院・神社・修験道……………七〇一

(一) 寺院と堂庵

- 堂 寺院の本末制度 定津院の本末論争
- 定津院領について 檀家制度 町域の寺と檀家

(二) 神社

- 村にまつられた神々 鎮守のお宮 神官 神主の葬祭

(三) 修験道(山伏)

- 山伏の組織 桜井村の山伏

第一一節 幕末期の動き……………七四九

- 捨文・直訴の禁止令 村人たちのうごき
- 藩による村方規制 ベリー来航 増大する負担

第五章 文化財と人物

- 別府 基保 寺島 隆史
- 久保 浩美 長岡 克衛

第一節 文化財……………七八五

- 1 成立石器時代住居跡 2 春原家住宅 3 海野宿
- 4 山浦真雄宅跡 5 中曾根親王塚古墳 6 宮ノ入のカヤ
- 7 和学校記念館 8 西宮の歌舞伎舞台
- 9 東町の歌舞伎舞台 10 癡海善寺石塔基礎 11 百体観音石造町石
- 12 力士雷電生家 13 塚穴古墳
- 14 金井の火まつり 15 児玉山古墳群 16 祢津城山
- 17 二子塚古墳 18 王塚古墳 19 有津倉のお念仏

第二節 人物……………八八〇

- 20 拈笑宗英禪師頂相 21 白鳥神社社叢 22 石尊さまの納め刀 23 祢津お姫尊巨石 24 常田の剣持道祖神
- 25 田中の石造仁王像 26 片羽八幡水 27 宮嶽山陵神社水石
- 28 横山西の塚古墳 29 姫子沢の宝篋印塔
- 30 西宮の市神 31 祢津陣屋 32 狐山古墳
- 33 木造百体観音像 34 杏葉など 35 勝軍地蔵
- 36 新屋の十王石像 37 姫子沢延命地蔵尊
- 38 中屋敷の宝篋印塔塔身

主な参考文献・資料提供者……………九二三

歴史編協力者名簿……………九二四

歴史編上・下あとがき……………九二五

東部町誌全六巻の編集を終えて……………九二七

「東部町誌歴史編」関係者名簿……………九三一